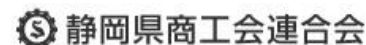


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和4年6月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和4年6月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和4年6月30日
- (2) 調査対象 県下35商工会（うち34商工会より回答）【回収率97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の10業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【新型コロナ感染状況の落ち着きにより、宿泊を中心にサービス業は好転したが、小売業は値上がりを要因に消費が冷え込み、全体の業況は横ばいで推移している】

産業全体の業況DI（景気動向指数・前年同月比）は-27.7（前月-27.7、前年同月-25.5）で、前月比変動なしとなった。新型コロナの感染状況が落ち着いたことで人出が増加し、宿泊業を中心にサービス業は業況が好転した。一方で、小売業は原材料高や円安等の影響で商品価格が値上がり、消費者心理が冷え込む要因となっている。

【製造業】

業況は-18.6（前月-21.6、前年同月-11.7）と前月に比べ3.0pt好転した。機械金属業では業況が改善されたものの、引き続き原材料・原油価格高騰や半導体不足、ウクライナ情勢、円安等の影響が懸念されている。

【建設業】

業況は-41.2（前月-44.2、前年同月-35.3）と前月に比べ3.0pt好転した。住宅関連は徐々に受注が回復しているが、設備機器の長納期化による工期遅延等が発生し、資金繰りの悪化に繋がっている。

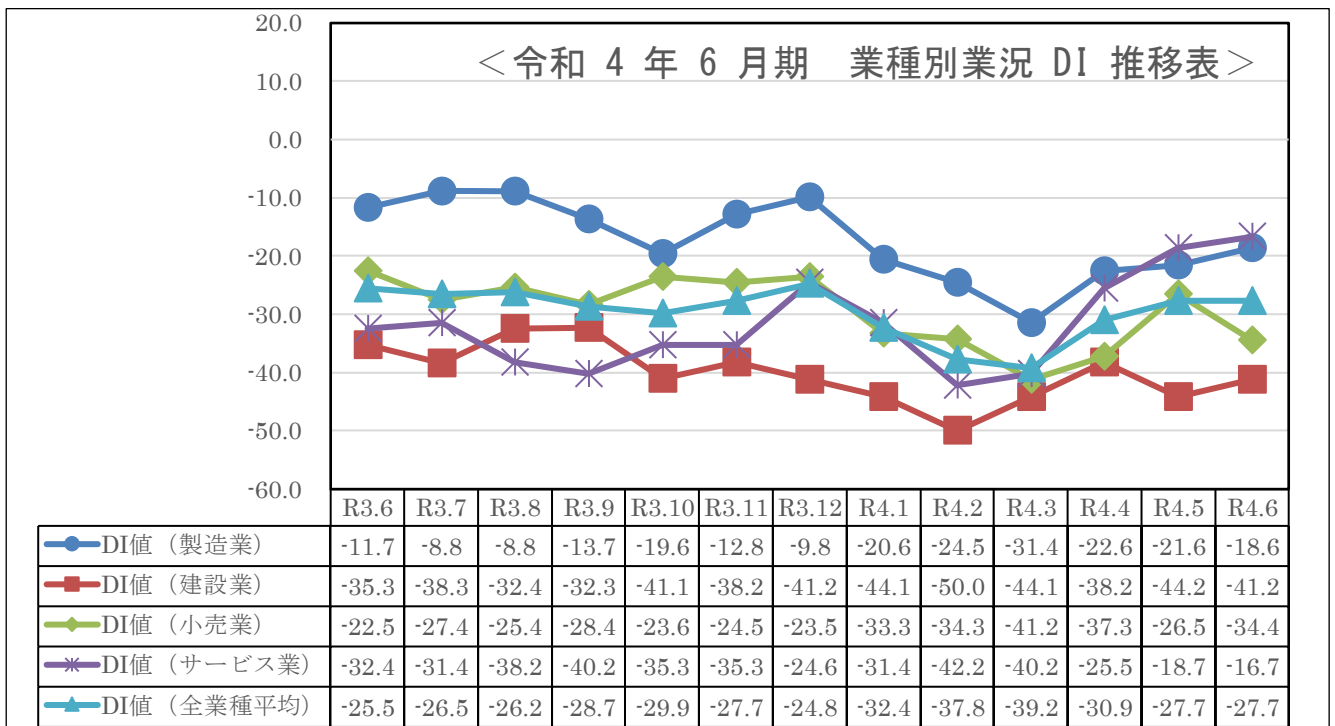
【小売業】

業況は-34.4（前月-26.5、前年同月-22.5）と前月に比べ7.9pt悪化した。原材料高や円安等の影響により仕入単価が上昇し、価格転嫁せざるを得ない状況である。

【サービス業】

業況は-16.7（前月-18.7、前年同月-32.4）と前月に比べ2.0pt好転した。旅館業では、新型コロナ感染状況の落ち着きにより人出が増加したことで、利用者や予約が回復し業況が改善された。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：増田・中村〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・食料品では商品値上げにより売上高は増加したが、原材料費もさらに高騰しており、採算性が悪化している。（伊豆）
- ・仕入単価等が上昇しているが、各企業経費削減に努め横ばい状態である。（富士駿東）
- ・ウクライナ情勢の影響を受け、仕入・材料費・動力費が高騰している。（中部）
- ・半導体や部品供給停止により自動車メーカーの生産減少があった。（中東遠）
- ・半導体関連の受注は依然好調で、過去最高益を計上した企業もあった。（西遠）

【建設業】

- ・ガス、水道機器類の納入に見通しが立たず、新築工事の着工が遅れている。（伊豆）
- ・電気工事業で材料が入荷できず工事が遅れ、売上の減少や資金繰り状況の悪化に繋がっている。（富士駿東）
- ・設備機器の長納期化や取引先からの入金遅延があり、資金繰りが厳しい状況である。（中部）
- ・住宅関連は動きがあるものの、企業の設備更新等の仕事は薄い。（中東遠）
- ・住宅設備サービス関連で、今月に入り徐々に受注が増えてきている。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

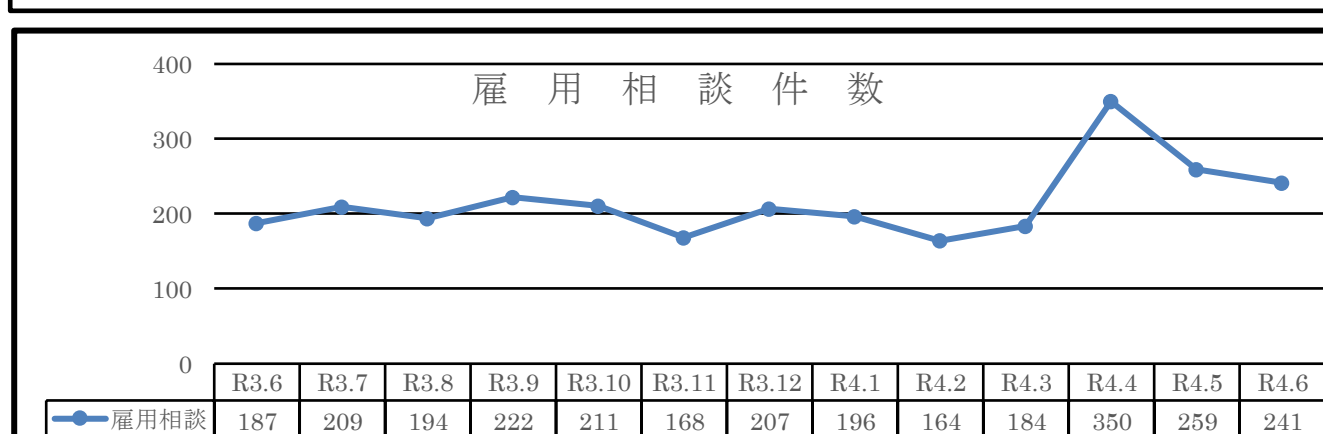
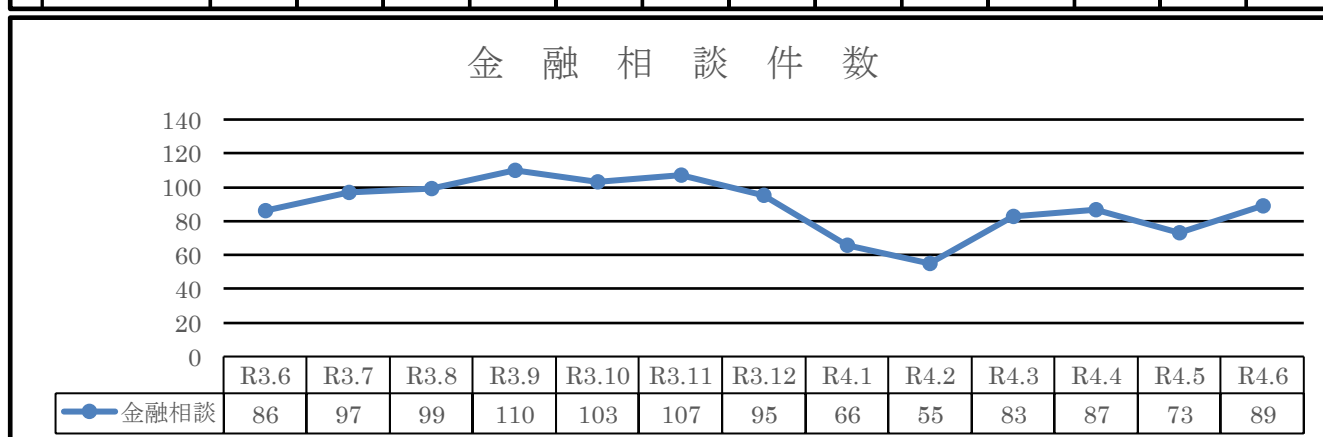
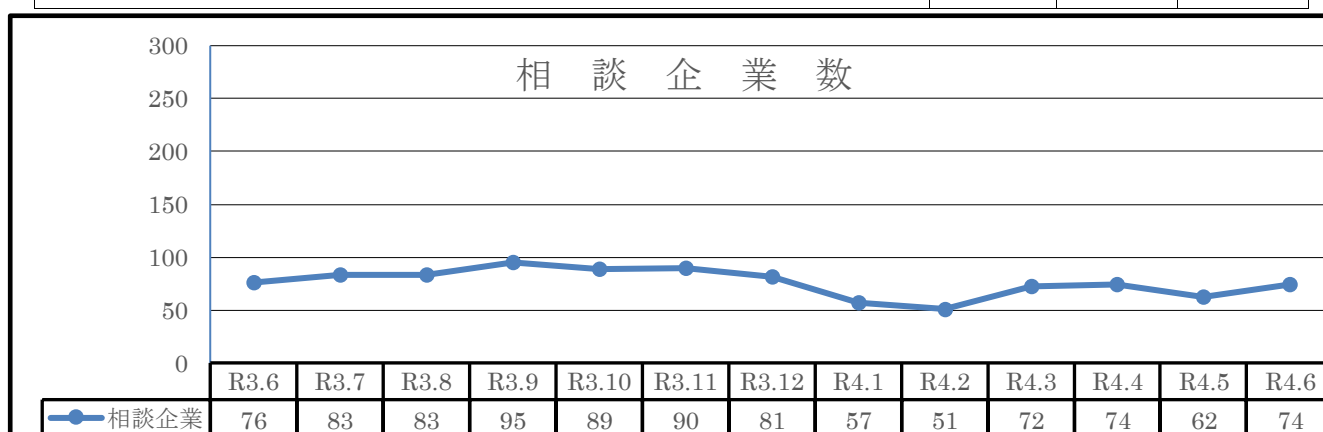
- ・耐久消費財では未だに納品待ちの商品が複数あり、多めに仕入れておいた商品も不足が始めている。（伊豆）
- ・多くの商品で仕入価格が高騰するのに対し、消費が停滞してきている。（富士駿東）
- ・海外からの輸入品が品薄となり高騰、特に食料品の一部では大幅に値上がりした。（中部）
- ・衣料品は仕入価格や経費高騰の影響があり、採算が厳しい状況である。（中東遠）
- ・食料品は原材料や梱包材も値上がりしており、価格転嫁せざるを得ない状況である。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・洗濯業では梅雨の短さに加えコインランドリーを利用する若年世帯が増加している。（伊豆）
- ・観光関連は夏前の閑散期となるが、市が独自の観光客向けクーポンを発行したことにより、客入りに期待する声が聞かれている。（富士駿東）
- ・旅館業では利用者が回復傾向にあり、夏季の予約が増加している。（中部）
- ・旅館業は新型コロナ感染状況の落ち着きにより、予約の持ち直しが伺える。（中東遠）
- ・理美容業は資材コストや電気量が上昇傾向で収益率が悪化している。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和4年6月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	74	62	12
【金融相談件数】	89	73	16
新規融資(借換えを除く)	53	37	16
既存債務の借換え	32	32	0
借入れ条件変更	0	1	-1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	4	3	1
【雇用相談件数】	241	259	-18



【金融相談】

金融相談件数は、89件と前月(73件)に比べ16件増加した。主な内容は創業等による新規融資相談が増加しており、前月より引き続き運転資金や借り換え等の既往債務に関する相談もある。

<経営指導員コメント>

- ・移住創業に伴う融資相談が増えてきている。(伊豆)
- ・相談は新型コロナ特別貸付の新規申込1件と少なく、その他は制度説明である。(富士駿東)
- ・車両購入等の設備資金に関する相談があった。(中部)
- ・研究開発業では新型コロナの影響を受け業況が悪化していたが、感染状況が落ち着き商談機会も増加しているため、借換を含めた運転資金の相談があった。(中東遠)
- ・全体として資金需要は落ち着いているが、新型コロナ関連融資の据置期間終了が近づいており、資金繰りを懸念する声が出始めている。また、物価上昇の影響により資金繰りが厳しくなっている企業もある。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、241件と前月(259件)に比べ18件減少した。従業員の確保や労働保険に関連する相談等があった。

<経営指導員コメント>

- ・若年層の雇用定着が悪く、人材が育たないという相談が多い。(伊豆)
- ・労働保険の年度更新相談や雇用保険の被保険者資格取得・喪失等、従業員の就業に関する相談に適宜対応した。(富士駿東)
- ・創業に係る雇用相談があった。(中部)
- ・就業規則や社会保険制度等に関連する相談があった。(中東遠)
- ・ここ数年、ハローワークや民間のWEB求人等に取り組んでいるが、問い合わせが無い状況が続いている。(西遠)